

# オコジョ

## 山の にんじや



オコジョは山の中にすむ、小さなどうぶつです。体がほそながいので、とてもせまいすきまにも、するりと入りこむことができます。すばやくうごくすがたから、「山のにんじや」ともよばれています。

夏のオコジョの体の色は、せなかが茶色で、おなかは白色です。冬になると、体はまっ白にかわりますが、しっぽの先だけはいつも黒いままです。てきの目を黒いしっぽの先にひきつけて、そのすきににげることで体をまもることができるといわれています。

えものをつかまえる前には、くるくる回ったり、ぴんぴんはねたりする、ふしぎなうごきをします。これを見たえものは、思わず目をばわれて、にげおくれてしまいます。そして、オコジョは自分より何倍も大きなウサギをつかまえることができるのです。

オコジョはねずみや小さな虫もつかまえて食べる、げんきなハンターです。ゆきの上をすばやくかけ回り、さむい冬の山でも、たくましくくらしています。

### せんたく(1)

オコジョの体は冬になると何色になりますか？  
えらんで○をつけましょう。

- ① 茶色
- ② 白色
- ③ 黒色

### せんたく(2)

なぜえものをつかまえる前にふしぎなうごきをするのでしょうか？  
えらんで○をつけましょう。

- ① てきをおどかすため
- ② あそぶため
- ③ えものの目をひきつけるため

### きじゆつ(1)

オコジョは何のにんじやとよばれていますか？

### きじゆつ(2)

なぜしっぽは冬でも黒いままなのですか？

### かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) たんぽ ぽ

(2) いぬ

(3) きょうだい

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |

こたえ      オコジヨ

せんたく      (1) ②      (2) ③

きじゅつ      (1) 山の<sup>やま</sup>にんじや

(2) てきの<sup>め</sup>目をひきつけて<sup>からだ</sup>体をまもるため

かん字      (1) 田<sup>た</sup>んぼ      (2) 犬<sup>いぬ</sup>      (3) 兄<sup>きょう</sup>弟<sup>だい</sup>